

財務・非財務ハイライト

2023年度の財務分析

2023年度は、半導体市場の低迷や、株式会社エクセルシャノンの連結除外などにより対前年度比で売上が減少しました。一方、セメントや化学品の国内販売価格修正や製造コストの改善が進んだことなどにより、営業利益は増益となり、それに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益も増益となり、ROEは改善しました。

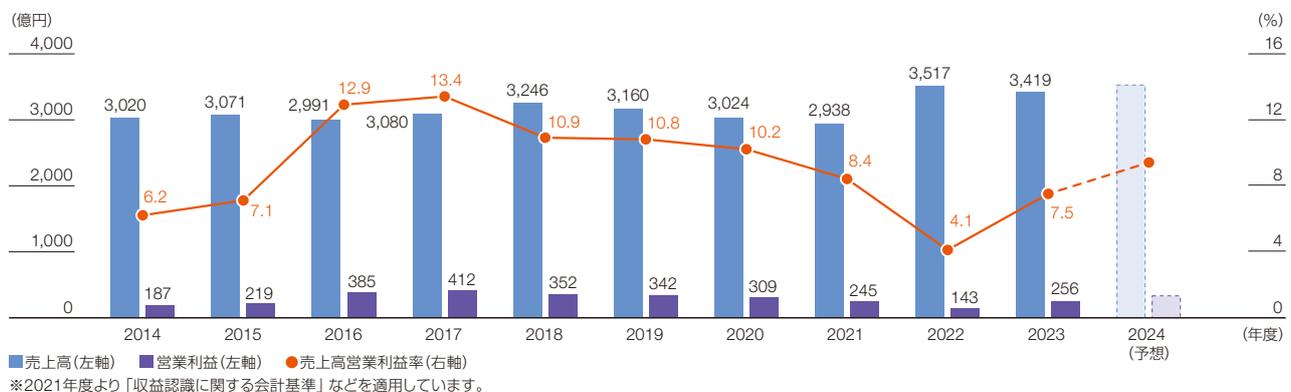
2024年度は半導体市場が回復局面に向かうと想定し、また製造コストの改善がさらに進むことなどを踏まえ、対

前年度比で増収増益を予想しています。また、中期経営計画2025の達成に向け、設備投資に伴う費用や研究開発費については増加を見込んでいます。

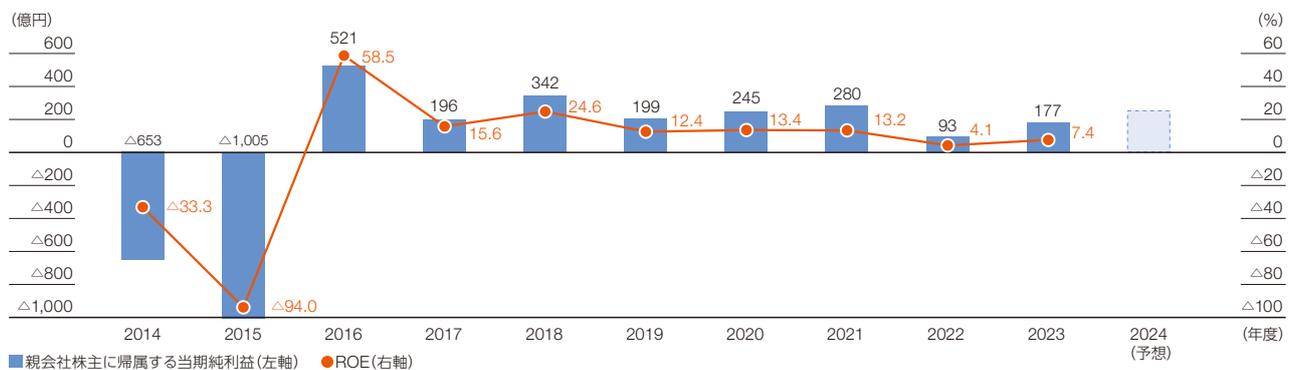
2024年度以降の配当については、DOE（株主資本配当率）3%を目標とし、配当性向30%以上を目指していきます。2023年度は対前年度比で年間10円の増配を実施しました。2024年度においても、対前年度比で年間20円の増配を予定しています。

財務情報

売上高／営業利益／売上高営業利益率



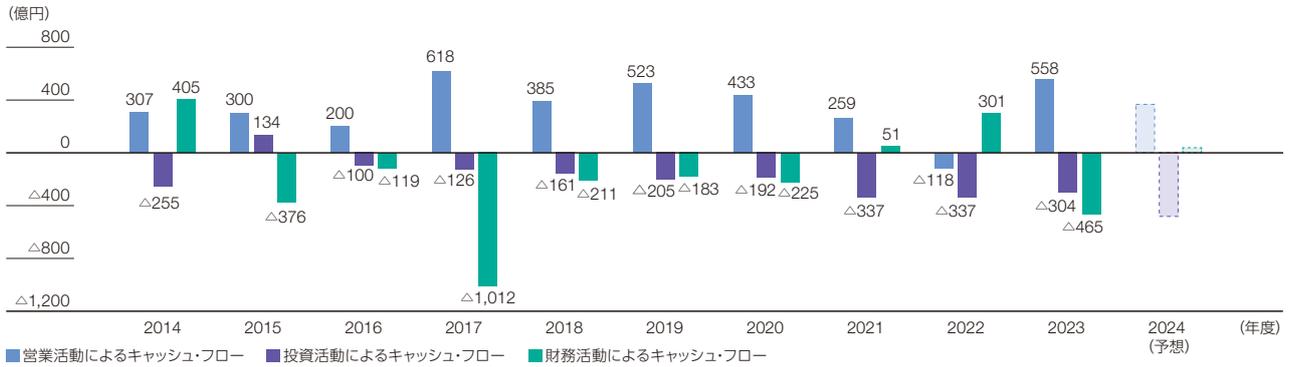
親会社株主に帰属する当期純利益／ROE



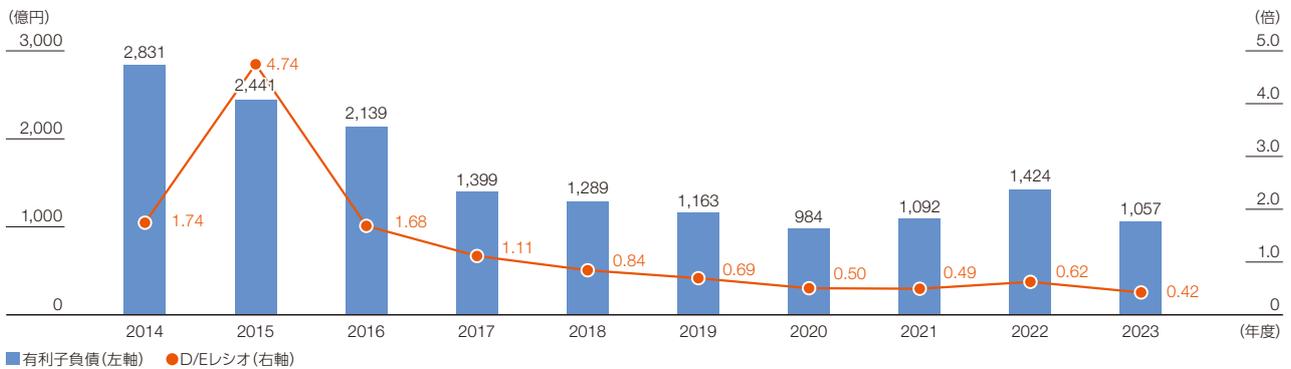
設備投資額／減価償却費／研究開発費



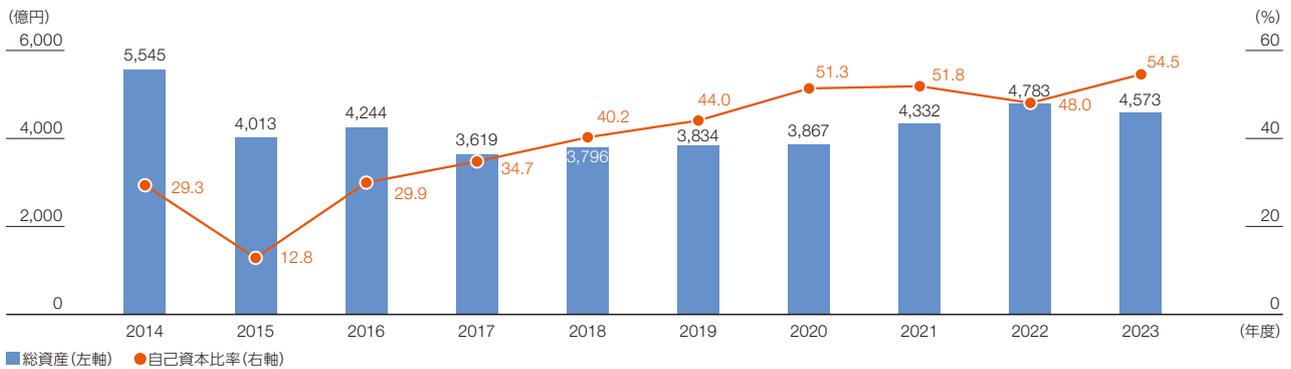
キャッシュ・フロー



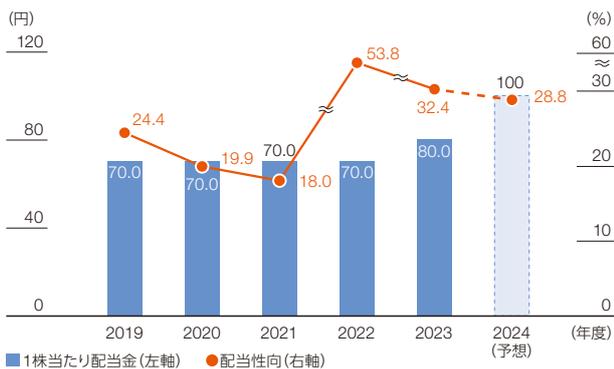
有利子負債／D/Eレシオ



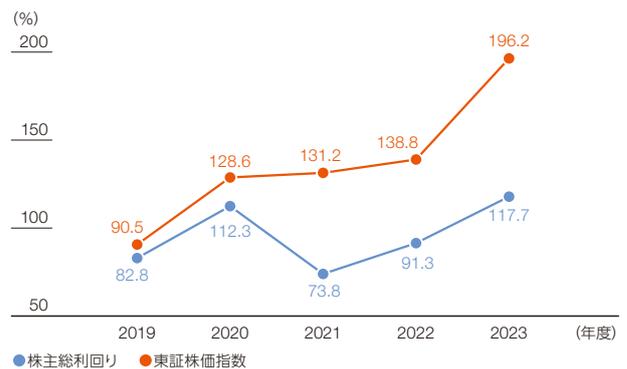
総資産／自己資本比率



1株当たり配当金／配当性向

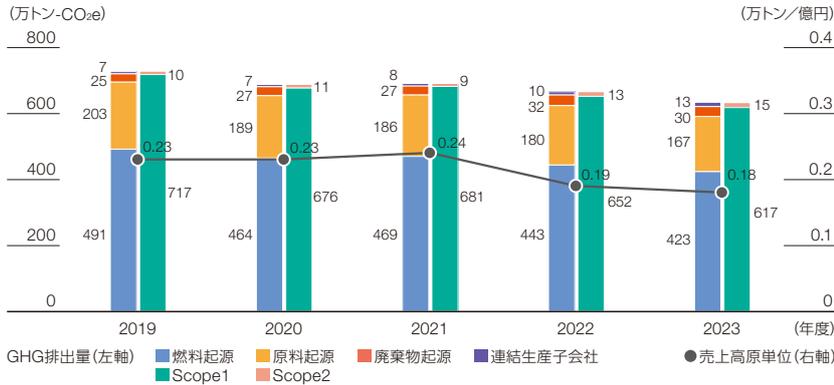


株主総利回り (TSR)



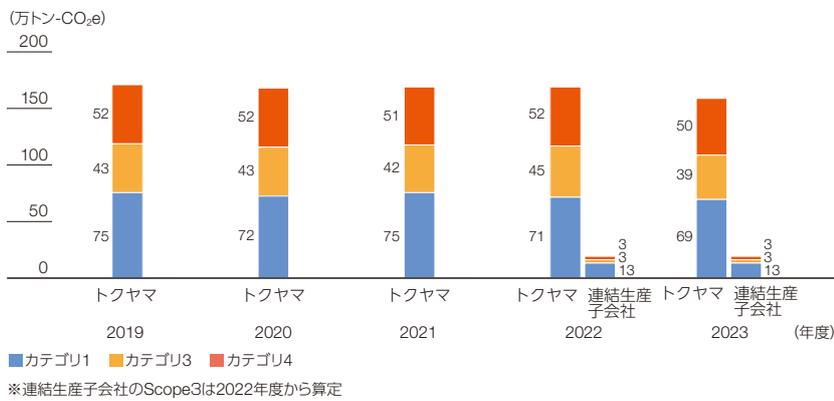
非財務情報

GHG排出量 (Scope 1、2)



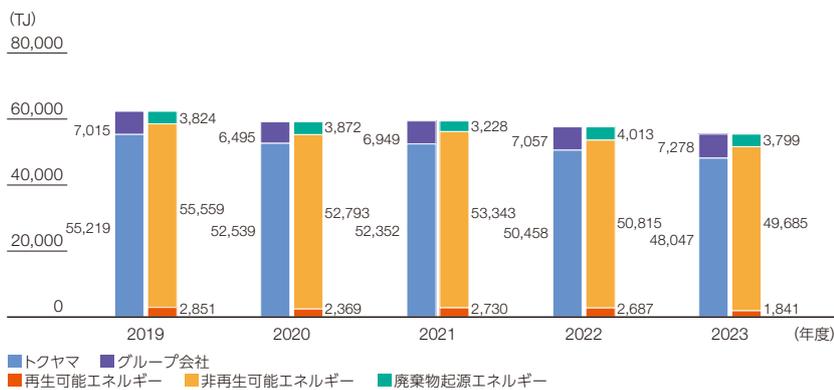
地球温暖化防止への取り組みを重要な課題として認識し、GHG排出量削減に取り組んでいます。GHG排出量は、CO₂、CH₄および N₂Oなどの総排出量であり、約99.8%はCO₂排出量です。GHGは主に自家発電設備による化石燃料の燃焼によって発生し、さらにセメントの製造工程などにおける石灰石(原料)の脱炭酸によっても発生しています。2023年度のGHG排出量は632万トン-CO₂eとなりました。

サプライチェーン排出量 (Scope 3)



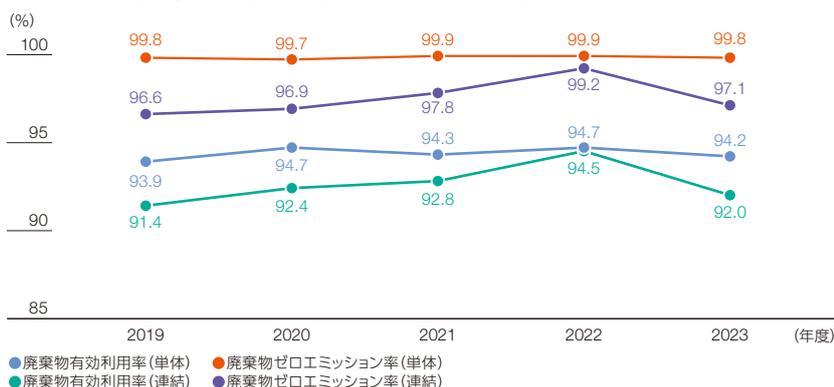
トクヤマでは、サプライチェーン全体のカーボンニュートラル達成に挑戦するため、今年度新たにScope3についても排出量削減目標を設定しました。トクヤマのScope3は、カテゴリ1、3、4が全体の90%以上を占めるため、このカテゴリの総量に対し、2022年度を基準として2030年度までに10%削減を目指します。なお、2023年度のScope3のカテゴリ1、3、4の総量は177万トン-CO₂eとなりました。

エネルギー使用量



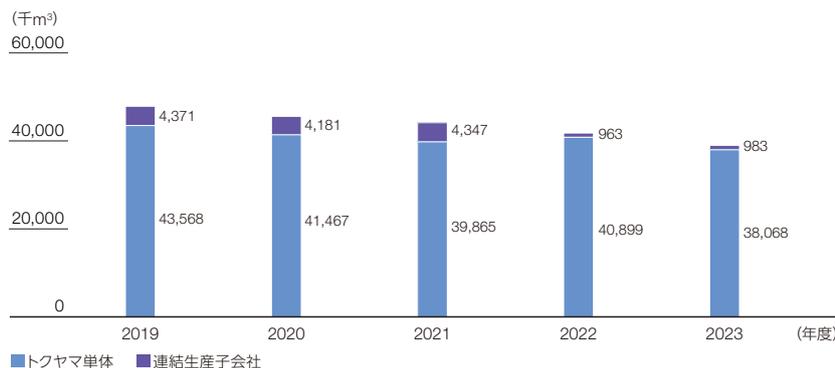
地球温暖化防止に向けた取り組み施策として、省エネルギーを推進しています。プロセス改善や設備更新などにより生産における電力と蒸気の使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーへの転換を進めています。2023年度におけるグループ全体での再生可能エネルギーの比率は約3.3%でした。

廃棄物有効利用率／廃棄物ゼロエミッション率



廃棄物の減量化・リサイクルの徹底により、2023年度も廃棄物有効利用率、廃棄物ゼロエミッション率共に高い数値を維持しています。発生した廃棄物は、徳山製造所でのセメントの原料や熱エネルギー代替としての再利用を中心に、社内外でのリサイクルを積極的に推進した結果、廃棄物有効利用率は92.0%、廃棄物ゼロエミッション率は97.1%となりました。連結子会社を含めたトクヤマグループの目標値を廃棄物有効利用率94%以上、廃棄物ゼロエミッション率99%以上とし、さらなる努力をしていきます。

水使用量（海水を除く取水量）



水使用量（海水を除く取水量）については、2019年度の使用量を上回らないことを目標に節水に努めています。冷却水やプロセス水に用いられる工業用水については、当社が使用しているダムの貯水量の確認を毎日行い、貯水率に応じて節水率を定め管理しています。2023年度の水使用量は39,051千m³となり、2019年度比で18.5%減少しました。

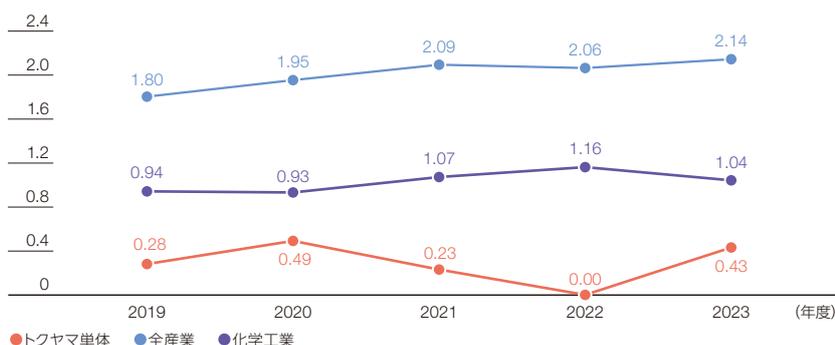
従業員数／女性比率／管理職以上の女性比率



トクヤマは「価値観の多様性に対応し公平性を確保する」を人材戦略における戦略軸の一つとして掲げ、社員一人一人の多様な価値観や考え方を企業活動に活かすダイバーシティを推進しています。学卒以上の新卒女性採用比率を毎年度20%以上*とする目標を掲げ、積極的な女性社員採用を進めるとともに、管理職以上の女性比率を2030年度に15%以上とする目標を掲げました。2023年度の管理職以上の女性比率は8.2%と徐々に上昇しており、目標達成に向け引き続きダイバーシティ推進に取り組んでいきます。

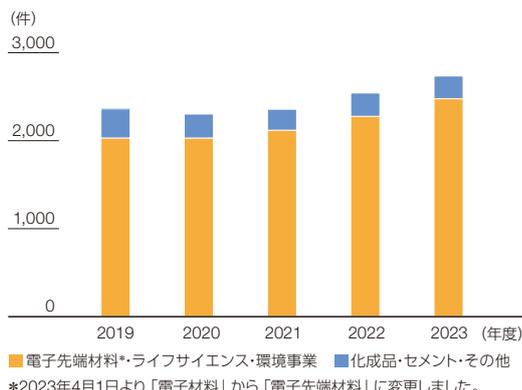
*単体および国内連結子会社

休業度数率



保安目標の一つに事故・休業災害ゼロを掲げ、危険要因の特定・排除を図ることや、個々人の行動特性を把握・認識し、不安全行動を撲滅することに取り組んでいます。しかしながら、2023年度は従業員の休業災害が2件発生したことを受け、休業度数率は上昇しました。引き続き、休業災害ゼロに向けて取り組んでいきます。

特許権保有件数



事業ポートフォリオ転換の実現に向けて、成長事業と位置づける電子先端材料・ライフサイエンス・環境事業に研究開発投資を集中させ、その成果を知的財産として権利取得・保護を行い事業化に備えています。その結果、上記3事業の特許権保有件数が増加しました。あわせて、グローバルな事業拡大を視野に、国外における特許権保有件数も増加しました。

*2023年4月1日より「電子材料」から「電子先端材料」に変更しました。

会社情報 (2024年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社トクヤマ
創立	1918年2月16日
業種	化学製造業
所在地	<p>【東京本部】 〒101-8618 東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原 TEL. 03-5207-2500 FAX. 03-5207-2580</p> <p>【徳山製造所 (本店所在地)】 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1 TEL. 0834-34-2000 FAX. 0834-33-3790</p>
資本金	10,000百万円
従業員数	5,734名 (連結 うち海外従業員数772名) 2,520名 (単体)
連結子会社	50社

株式会社トクヤマ国内拠点



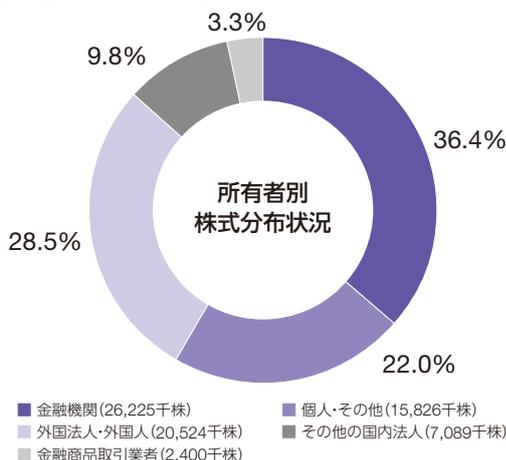
株式情報

発行可能株式総数	普通株式 200,000,000株
発行済株式総数	普通株式 72,065,859株 (自己株式 (22,468株) を除く)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	4043
株主数	普通株式 28,345名
事業年度	4月1日から次年3月31日まで

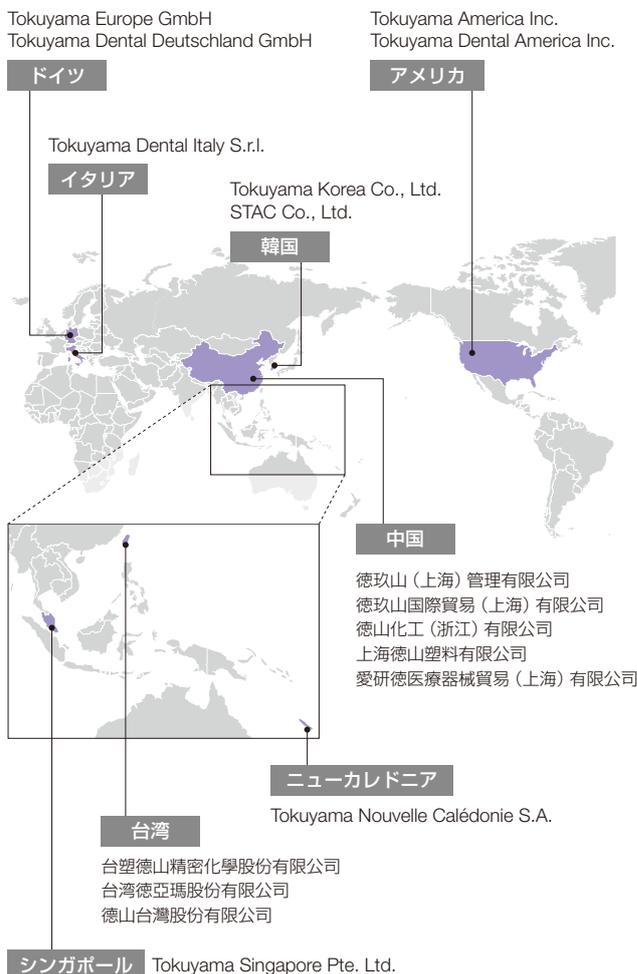
配当方針

剰余金の配当は、3月末日および9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に実施しています。利益配分につきましては、株主の皆さまへの継続的な安定配当を基本としつつ、業績、配当性向および中長期事業計画等を勘案して実施することを基本方針としています。

所有者別株式分布状況



連結子会社海外拠点



連結子会社

電子先端材料

徳山化工（浙江）有限公司*1

乾式シリカ、高純度塩化シラン、電子工業用高純度薬品の製造・販売

台塑徳山精密化学股份有限公司*1

電子工業用高純度IPAの製造・販売

台湾徳亞瑪股份有限公司

電子工業用高純度薬品の製造・販売

STAC Co., Ltd.

電子工業用高純度IPAの製造・販売

TDパワーマテリアル（株）

窒化アルミニウム白板の製造・販売

ライフサイエンス

上海徳山塑料有限公司*1

微多孔質フィルムの製造・販売

（株）トクヤマデンタル

歯科医療用器材および関連材料の製造・販売

Tokuyama Dental America Inc.

歯科医療用器材および関連材料の販売

Tokuyama Dental Deutschland GmbH

歯科医療用器材および関連材料の販売

Tokuyama Dental Italy S.r.l.

歯科医療用器材および関連材料の販売

（株）エイアンドティー

医療用分析装置および診断用試薬の製造・販売

愛研徳医療器械貿易（上海）有限公司

医療用分析装置および診断用試薬の販売

（株）ASM

先端高分子材料の製造・販売

ほか1社

環境事業

（株）アストム

イオン交換膜および応用装置の製造・販売・保守

（株）トクヤマ・チヨダジブサム

廃石膏ボードの収集、二水石膏の製造・販売、廃石膏ボードリサイクル事業の運営

（株）FLトクヤマ

漆喰関連製品とその加工品の企画・立案・販売事業

化成品

新第一塩ビ（株）*1、*2

塩化ビニル樹脂の製造・販売

（株）トクヤマソーダ販売

ソーダ灰および塩化カルシウムの仕入・販売

サン・アロー化成（株）

塩化ビニル樹脂製品の製造・販売

セメント

Tokuyama Nouvelle Calédonie S.A.

セメントの製造・販売

（株）トクヤマエムテック

建築材料および化学製品の加工・販売

トクヤマ通商（株）

セメントおよび生コンクリートの仕入・販売

（株）トクヤマアートブロックLABO

インターロッキングブロックの製造・販売

東京トクヤマコンクリート（株）

生コンおよびコンクリート製品の製造・販売

川崎徳山生コンクリート（株）

生コンクリートの製造・販売

中国生コンクリート（株）

生コンクリートの製造・販売

広島トクヤマ生コン（株）

生コンクリートの製造・販売

西部徳山生コンクリート（株）

生コンクリートの製造・販売

（株）しろかわ

生コンクリートの製造・販売

香川トクヤマ（株）

セメント・建材の販売、生コンクリートの製造・販売

九州徳山生コンクリート（株）

生コンクリートの製造・販売

（株）豊海

生コンクリートの製造・販売

（株）野津原

生コンクリートの製造・販売

その他

徳玖山（上海）管理有限公司

中国のトクヤマグループ会社の統括・管理

徳玖山国際貿易（上海）有限公司

トクヤマグループ製品の販売

徳山台湾股份有限公司

成長事業のマーケティングおよび研究開発

Tokuyama Korea Co., Ltd.

トクヤマグループ製品の販売

Tokuyama Singapore Pte. Ltd.

電子工業用高純度薬品の製造・販売
トクヤマグループ製品の販売

Tokuyama America Inc.

トクヤマグループ製品の販売

Tokuyama Europe GmbH

トクヤマグループ製品の販売

周南システム産業（株）

土木および建築の設計・施工、工場構内作業請負、建築材料の仕入・販売

（株）周南スイミングクラブ

スイミング、フィットネスなどの運営

トクヤマ海陸運送（株）

海運業、貨物運送業および倉庫業

共栄石油（株）

給油取扱業

山口汽船（株）

海運業

周南バルクターミナル（株）

石炭等のバルクカーゴに関わる倉庫業

トミテック（株）

家庭用除湿剤の製造および合成樹脂の成形加工

（株）スーパーナノデザイン

ナノ材料の設計・製造・販売

（株）トクヤマゆうゆうファーム

リーフレタスの栽培

*1 特定子会社

*2 2024年4月1日付で（株）トクヤマに吸収合併されました。

※（株）エクセルシャノンは2023年7月3日付で持分法適用会社となりました。

※（有）周南海陸運送は2023年10月1日付でトクヤマ海陸運送（株）に吸収合併されました。

※（株）トクヤマMETELは2023年12月28日付で連結子会社の対象から外れました。